



石臼の目立て完了！！2019年12月16-17日
高松市牟礼町「大川石材」さんと友の会 記念撮影
(撮影緒方正則氏)

**高原水車友の会 第7回総会は、
中止いたします。**

5月に予定していました総会は、新型コロナウイルスの感染状況を考え、中止します。そのため、緊急企画委員会議を開き、議案を審議いたします。ご了承お願いいたします。議事録・報告書をお送りしますので、ご意見ご要望などお寄せ下さい。

予定していた特別報告（下記）は秋以降にご案内いたします。
引き続きご支援よろしくお願ひいたします。

「石臼の目立てについて」

大川石材社長大川弘展氏

「水車・歯車・石臼そしてガンドが動き始める」

野瀬秀拓氏（水車大工棟梁・福岡県久留米市）

高原水車友の会通信（第14号）

高原水車

高原水車友の会
高松市六条町672
高原水車場



題字 森佐知子
カット平田真咲

◆第7回総会中止のお知らせ

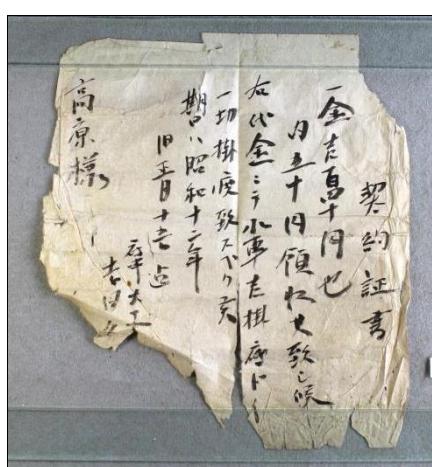
■ 第7回総会中止のお知らせ	…
■ ひとくちメモ	…
■ 石臼目立て作業	…
■ 齧車と石臼が繋がる	…
■ 受賞	高松市美しいまちづくり賞
■ 助成金を受ける	…
■ 雑祭り茶会	…
■ 「れきみん第30号記念号」発刊	…
■ 活動日誌	…

ひとくちメモ

—高原水車収蔵資料より

「契約証書」

昭和12年1月、高原水車は府中水車大工吉田久吉氏と水車と底樋修理の契約を交わしている。



高原様

一金壱百四十円也 内五十円領收取致候
右代金テ水車壱掛底ドイ一切掛渡スベク候
期日ハ昭和十二年正月十五日迄

府中大工 吉田久吉

石臼立て作業

2019年12月16日・17日



☆二人の石工マイスターに、池森先生は次々質問を投げかける。直線の溝はもちろん、表面全体に細かくたたいて筋を付けて行く作業に驚く。汚れていた石の表面が、たちまち白く光ってきた。同じ姿勢での厳しい長時間作業に感嘆。



石臼の直径 640 mm。

石臼四面を2日間で仕上げた。手作業で「キンキン」「コンコン」と規則正しい鑿の音が響いた。一つは「犬島」の石、他は「宇野」の石らしい。「宇野」の石は高い金属性の音を立てた。



歯車と臼が繋がる

2020年1月16日・17日・18日

福岡県久留米市から香川へ通い続けて高原水車の復元に力を尽くしている水車大工野瀬秀拓氏にとって、この日は、何度もかの記念すべき日となりました。もちろん水車友の会につつても喜びひとしおでした。

水輪に連動する複雑な歯車（万力）と、目立てを終えた臼が繋がり、まるで生き物のように動き始めました。わずかですが、粉も碾けました。



◆石臼の周りをタタキ（三和土）で固める



◆石臼を設置

奥は上臼を下臼に載せる作業（すでに下臼の周りの粉桶と心棒は取り付け済）



臼外周の4つの穴に角材を挿入、板の上を滑らせながら、定位置に運んだ。



上臼の周りに4つの引き木（臼歯車と上臼を繋ぐ部品）を配置し、臼歯車を装着。回転は反時計回り。



石臼の厚みを測る。約1尺。



早速、バネ秤でなにやら計測？上臼がどの程度の力で回り始めるかチェック！



2020年1月16日

◆歯車（万力）を設置する
歯車が到着

重い歯車を持ち上げて定位置に設置組立



歯車（万力）を組み立てる野瀬秀拓氏と翔平さん



水車の心棒を打ち込み、楔で締め付ける作業。



歯車の受け台をしっかりと固定。



ガンド（篩）へ通じる回軸の作動状況を点検中 池森先生と友の会。



小麦粉の排出口を掃除中。



長い漏斗（ロート）の下にあるホッパー（四角錐）の取り付け。



臼を手回しして製粉



水車と歯車群（万力）と石臼の組立完了！！！ 三つが連動して動く様子に歓声が上がった。まだ水車回転は人力で慎重に。疲れるウ～
 （左上）歯車を手で動かし（反時計回り）粉の出る様子を見ている。
 （左下）ホッとする友の会と大工さん （1月18日）



◆さらに調整を
2月20日



大小の歯車と石臼の噛み合いの調整作業に集まる。



加水した小麦を準備し、動く石臼に投入をくり返している内に白い小麦粉が出て来た！ まだ篩は手作業。水量の調節、臼の回転スピードの微調整が課題である。



水量調節





2月29日 会費300円
雛祭り茶会



薄暗い水車場の和室が、雛飾りと御抹茶の席に変わりました。結構なお点前と一服に感謝！

なおこれまで、「一般社団法人百十四銀行学術文化振興財団」からも助成を受けました。
また、福武財団からは複数年に亘って助成を受けています。

助成金
（会の印刷費・通信費・会議費などに活用します）
助成 2020年度
□福武財団 濑戸内海地域振興
財団（水車場の安全な展示用照明器具設置費等に活用します）

（広報活動等に活用します）
□高松市歴史民俗協会
（石臼・歯車の修復費として活用します）
□公益信託 大成建設自然・歴史環境基金 2019年度助成金

「高原水車友の会」は、次の団体から助成を受けています。
心より感謝いたします。

（都市整備局都市計画課景観係担当）

が参加しました。賞状と盾をいただきました。

毎年「高松市美しいまちづくり条例」によつて、美しいまちづくりに寄与し貢献していると認められる個人や団体が表彰されます。「高原水車友の会」は、活動部門において、功績が認められました。（都市整備局都市計画課景観係担当）



「高松市美しいまちづくり賞」
2月14日に表彰式が行われ、「友の会副会長」と川崎正視(友の会企画委員長)

の会」とからは、堀家みどり(友の会副会長)と川崎正視(友の会企画委員長)



（高松市ホームページで作品集が見られます）

前列中央は大西市長。左から2人目が堀家（和服）
後列左端が川崎。5人目が創芸久保氏（高原水車復元にも参加）

「れきみん」第30号記念号

頒価200円

令和2年3月31日



会員の皆様へ
2020年度会費(1000円)の納入をお願いいたします。振込手数料が高くなり恐縮です。手渡しでできる方はなるべく手渡し願います。

会費納入のお願い 振込用紙を同封しました。

高原水車友の会通信
2020年4月号

高松市歴史民俗協会(会長千葉幸伸氏)会報「れきみん」第30号記念号が発刊され、「高原水車友の会」も協会の加盟団体16の中に入れていただき、文章を寄せました。巻頭に名誉会長松平頼武氏が、「高松城跡に想う」を寄せていました。「高原水車友の会」では「讃岐六条の水車復元と保存」を書きました。加盟団体として活動助成金をいただいております。冊子の販売など協会の活動に協力していきたいと思います。表紙の写真は、讃岐漆芸の祖といわれる漆芸家玉楮象谷作の工芸品。



見学者 12月16日

香川高専の先生方が水車を訪問されました。

池森先生、野瀬大工とも懇談。石臼目立ても見学。

今後、高原水車が若い人達とつながって行き、水車の存在が、学生さんの学習に役立つとうれしいです。

石渕巧氏来訪 3月21日



2020年冬春

1/11 福武財団助成金申請のため、プレゼンに参加。審査員からコメント

1/16～18 齒車石臼調整、回転

2/14 「高松市美しいまちづくり賞」受賞式に参加

2/20・21 水車・齒車・石臼回転粉を碾く

2/29 水車場で「雛祭り茶会」催す
三木町文化財公開講座延期(コロナウイルス流行のため)

3/21・22 ガンド・齒車噛合調整

石臼周辺整備(コンクリート)
水車大工子孫石渕氏来訪

活動日誌 2019年秋冬

10/10 公益信託大成建設自然・歴史環境基金から2019年度助成金給付決定

11/6 蕎麦の茹り取り、竿に架けて干す屋外トイレ浄化槽設置工事を始める

12/16 香川高専先生方来訪
大川石材さん石臼立て～17

友の会会長 平田恵美

高原水車友の会 連絡先

0877(33)4601 堀家